

(1) 経営方針

当社は、平成 17 年 10 月 1 日、日本道路公団の分割・民営化により、高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を効率的に行うこと等により、道路交通の円滑化を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的として設立されました。

〈経営理念〉

当社は、高速道路をこれまで以上に有効に活用し、その効果を最大限に発揮させることで、地域社会に発展と暮らしの向上、さらに西日本経済全体の活性化に貢献します。

〈経営方針〉

当社は、5 つの経営方針を定め、西日本エリアの発展のため「地域社会とともに歩む西日本高速道路株式会社」を目指してまいります。

- 「地域から愛され、お客様に喜ばれる会社づくり」
- 「高速道路による、地域を支える社会資本づくり」
- 「企業価値を高め、経営体質強化への基盤づくり」
- 「働く喜びを感じ、誇りの持てる企業風土づくり」
- 「共同で収益を生み、協調できるパートナーづくり」

事業別方針

高速道路事業では、西日本地域のくらし、社会、経済、文化の向上に、そして環境保全においても社会貢献を果たすため、安全・安心で快適な走行空間を提供し、より使いやすい道路を目指し、信頼性の高いネットワークを構築します。

経営資源を活用した関連事業では、地域への貢献と地域の皆様との共栄に向けて努力し、サービスエリア・パーキングエリアなどでのサービスの向上や多機能化を図るとともに、新規事業にチャレンジします。

高速道路事業



安全・安心で快適な道路空間を提供し、災害時などにおけるサポートを充実させ、地域社会との連携を図りながら、お客様に満足していただけるサービスを提供します。



地域の発展と暮らしや利便性の向上に貢献するため、信頼性の高い高速道路ネットワークを効率的に構築します。

関連事業



サービス水準の向上と多機能化を図るとともに、収益性を向上させます。

※ サービスエリア事業：高速道路の休憩所、給油所等の事業

新事業

新規事業分野を開拓し、地域への貢献と地域の皆様との連帯による共栄を目指します。

道路受託事業

新直轄方式で高速道路を整備する区間など道路受託事業について、技術とノウハウを活かし、信頼性の高い事業を推進します。

(2) 経営成績と部門別概況

1. 経営成績

当社の当期における業績につきましては、営業収益は 499,334 百万円、経常利益は 20,595 百万円、当期純利益は 9,675 百万円となりました。

各部門別の概況については、次のとおりです。

2. 部門別概況

【高速道路事業】

高速道路事業においては、開通延長を 8.2Km 伸ばし 3,258Km となり、通行台数は対前年同期比で 2%増加しました。355,078 百万円の営業収益があり、営業利益は 18,302 百万円となりました。これは経済環境が好転したことに伴い、料金収入が増えたこと等によるものです。

【関連事業】

高速道路事業以外の事業である関連事業においては、144,255 百万円の営業収益があり、営業利益は 1,489 百万円となりました。

(3) 対処すべき課題

当社は、平成 18 年 3 月に国土交通大臣の認可を受け、「平成 18 年度事業計画」に基づいた高速道路事業を本格的にスタートさせております。当社はこの平成 18 年度を「飛躍のための基盤づくり初年度」と位置付けて、目標の達成に向けた取り組みを行ってまいります。

【高速道路事業】

高速道路の新設・改築においては、「第二回国土開発幹線自動車道建設会議」で決定された内容を踏まえ、会社として計画的で効率的な建設計画を策定し、平成 18 年度末で 3,258Km[※]₁の高速道路ネットワークの構築を図ります。

高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理については、パートナー（子会社）化による執行体制を構築することなどの施策により、お客様に満足いただける安全、安心な高速道路を提供します。

※ 1) 平成 17 年度末延長 3,258 k m との差が無いのは、H18.4.1 に米子道路（5 k m）を無料開放したこと、平成 18 年度に山陰自動車道 宍道 JCT～斐川間（5 k m）の開通を予定していることによるものです。

【関連事業】

サービスエリア事業の展開については西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社と一体となって、お客様に満足いただける店舗づくりや商品の品揃えの充実を図り、また地域に密着した情報の収集・発信と地域特性を活かしたサービスの提供などを行います。

そのほか、平成 18 年 4 月から九州エリアで試験導入しております休憩施設での小額決済システムなど、新規事業分野を開拓し、地域への貢献と地域の皆様との連帯による共栄を目指します。

また、中国横断自動車道などの新設（新直轄方式）や「一般国道 1 号改築事業の合併施行（枚方市～門真市）における工事等の施行に関する平成 18 年度協定」等に基づく国や地方公共団体等からの受託工事を実施します。

【会社全体に関わる課題】

地域から愛されお客様に喜ばれる会社づくりのため、「CS 推進本部」を設置し、従業員一人ひとりが CS（Customer Satisfaction:顧客満足）の必要性について理解を深めつつ、諸方策を推し進めます。

また、企業価値を高め、経営体質を強化するため、リスク管理体制の構築、IT 化、情報セキュリティ及びコンプライアンスへの取り組みを推進するとともに、財務体質の強化及び投資家等のステークホルダーからの信頼性向上のため、より一層のコスト削減とディスクロージャーに努めます。